

2023年6月28日
株式会社金財情報システム

金財情報システム、ディー・キュービックと協業で弁護士向けサービスを提供開始

～第一弾「AI 電話自動応答サービス」をリリース～

株式会社金財情報システム（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：藤森雅、以下「金財情報システム」）は、ディー・キュービック株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岸本享、以下「ディー・キュービック」）と協業し弁護士向けセクレタリーサービス「パラリー（プロダクト群の総称）」の第1弾として、電話対応業務の負担削減に寄与する「AI 電話自動応答サービス」の提供を開始いたしました。東京都の弁護士事務所を皮切りに全国へ販路を拡大いたします。



協業の背景

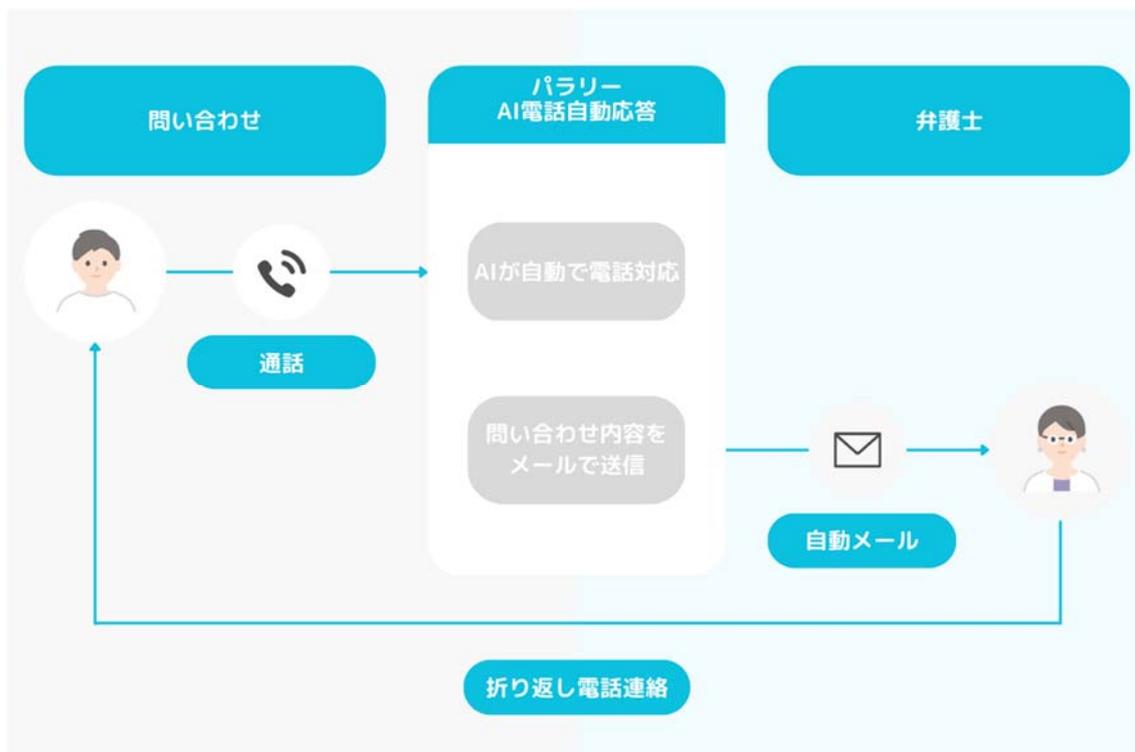
2022年5月の国会で改正民事訴訟法が可決・成立し、民事訴訟に関する手続は2025年までに段階的にIT化を進めると決定されました。現在、(※)全国の弁護士事務所の約78%が2名以下で業務にあっており、IT化への移行は非常に多くの時間と労力が必要です。金融機関や弁護士のサポート業務を50年に渡って行なってきた金財情報システムは、DXなどの支援を200社以上行ってきたディー・キュービックとの取り組みにより、弁護士支援を図るとともにIT化への後押しを行って参ります。

※弁護士白書 2021年度版より

パラリーとは

パラリーは、金財情報システムとディー・キュービックが共同で提供する弁護士や法律事務所のDX化を支援するサービスの総称です。小規模事務所の多くはデジタル化への対応が遅れています。2025年に迫る民事裁判の全面IT化に備えて対応を求められている弁護士の負担を軽減させるため、パラリーを開発いたしました。第1弾として、電話対応の負担をAIにより軽減する「AI 電話自動応答サービス」の提供を開始いたしました。まるで秘書のように寄り添いながらデジタル化推進を強力に支援してまいります。

AI 電話自動応答サービス概要



代表電話をはじめとした受付を AI が応答し、問い合わせ内容を担当者へ自動でメール送信するサービスです。営業電話の取次ぎや通話後の事務作業など、電話対応にかかるコストを削減する効果が期待できます。24 時間 365 日漏れなく対応でき、弁護士事務所のイメージに合わせて 2 種類の音声から選んでいただくことが可能です。

今後の展望

AI 電話自動応答サービスを第 1 弾として、今後は紙で保管されている資料のデジタル化やネットワーク環境の構築、さらにオンライン裁判のシステム操作サポートなどパラリーを通して弁護士や法律事務所に向けた DX 支援サービスとして業務の全体最適化に貢献してまいります。また弁護士だけでなく、その他の土業向けの機能を備えたサービス開発も進めてまいります。

株式会社金財情報システムについて

主な業務は、経営情報の処理、利用システムに関する調査研究、経営情報の収集、利用に関する研究会・セミナーの開催、金融機関向けに調査・研究の報告業務を実施しています。

特に、1970 年より金融機関独自のマーケティング戦略について研究する「金融マーケティング研究会」、人事・労働問題に精通した弁護士・社会保険労務士などと共に学ぶ「金融人事問題研究会」、IT 企業と金融機関との間で金融機関におけるシステム構築の在り方を考える「金融システム研究会」では、金融機関の経営課題にフォーカスした教育、研究の機会を全国の金融機関が活用しています。

また、コロナ禍においては、BCP 対策製品としてコロナ検査キットを始めとして消毒用アルコールなどに関して信頼できる製品を廉価で購入できるよう、社会インフラである金融機関や弁護士向けに情報提供しており、今後も社会性を持った事業展開に努めていきます。

<http://www.kinzai-jyouhou.jp/>

ディー・キュービック株式会社について

1979 年に前身の第一アドシステム(株)として創業し、テレマーケティング黎明期からマーケティング、セールスプロモーション支援や、通販フルフィルメントなど、24 時間 365 日対応のコンタクトセンターサービスを中心とした企業向けソリューションを提供。近年では AI と有人のハイブリット対応を特徴とする、「AI クラーク ©」による企業の DX 推進支援サービスや、コンタクトセンター運営のノウハウを活かした、バックオフィス業務の効率化・コスト最適化を実現する、「BPO サービス」等の提供も行っており、2023 年 2 月には、経済産業省が定める DX 認定制度に基づく「DX 認定事業者」に認定されている。

また、新事業ビジョン「アナログとデジタルでの「対話」から、豊かな「顧客体験」を共創する企業へ」を掲げ、ディー・キュービックの強みである、一人一人に寄り添ったオペレーションを通し、企業と顧客との“対話”の仲介役として、顧客の楽しく、快適で、満足のゆく「顧客体験」の創造を支援するサービスを提供している。

<https://www.dcubic.jp/>